

高大連携通信

発行 兵庫県立神戸高等学校新学科検討委員会
第 8 号 平成 14 年(2002 年)9 月 26 日(木)

神戸大学生になった気分？ 連携講義始まる

神戸大学の写真付受講章 (ID カード) をもらって、改めて緊張した

9 月 25 日(水)午後 5 時から神戸大学キャンパスで神戸高校と神戸大学の高大連携講義が始まった。この日は連携講義のガイダンスで、受講生 42 名に受講章の配布と連携講義の目的と各講義の紹介が行なわれた。各講義の内容の紹介があった。理学部の担当する講義は「コンピュータを使ったシミュレーションによる多様な自然現象の理解」をテーマとしていること、また、農学部が担当する講義は食糧生産、自然環境、食品化学などを研究する農学を、理学、工学、医学などの知識に関連づけたものであること、工学部担当の講義はサイエンスとテクノロジーの融合であるエンジニアリングという立場で構成していることなどの説明であった。理学部、農学部、工学部のそれぞれ 4 回ずつの講義が来年 1 月までに計 12 回実施される予定である。難しそうではあるけれど、どのような話が聞けるか楽しみでもある。

次回講義「情報システム化技術と建築構造」をインターネットで調べると...

2 週間後の 10 月 9 日(水)に行なわれる第 2 回の講義は「情報システム化技術と建築構造」(工学部 谷 明勲 助教授)である。今回のガイダンスでの説明では詳しい内容の説明が無かったので、第 2 回講義がどのような講義になるのか、インターネットで調べてみた。情報検索に使うのは、連携通信第 6 号で紹介したインターネットの検索サイト Google (<http://www.google.co.jp/>)である。検索にはどのような検索キーワードを入れるかのテクニックに尽きる。では、最初に、検索のキーワードを、タイトルから「情報システム」、「建築構造」としてみよう。google サイトの検索欄にこの二つのキーワードをスペースを間に入れて、クリック(リターン)すると、検索結果は 1080 件と多くの情報が一致した。しかし、全国の工学部の紹介(情報工学科、建築工学科)ばかりが大量に出てきた。大学の学科の案内ばかりである。これでは目的とは外れている。これは、「情報システム」と「建築構造」が独立しているキーワードであるためだ。「情報システム 建築構造」として一つのキーワードとして検索すると、「今度は検索データがありません！」となった。「建築構造情報システム」と前後を入替えたキーワードで再挑戦したが、また「検索データがありません！」だ。ここで諦めるのは初心者だ。それなら「建築情報システム」と「構造」を抜いたキーワードで検索すると、「建築情報システム研究会」など建築学の中の研究分野として、建築情報システム学なる分野が存在することを知らる。このあたりが、インターネット検索のテクニックだ。キーワードのアレンジが欲しい情報を見つけるコツである。

Welcome to AIS Lab.

建築情報システム学研究室. 京都大学大学院工学研究科 建築学専攻 Dept. of Architectural and Architectural Systems, Kyoto University English Version ... is-mj.archi.kyoto-u.ac.jp/ - 4k - キャッシュ - 関連ページ

Syllabus Index

... 411010 建築情報システム理論 411020 建築情報システム設計 411030 建築計画特論 /A> 411040 建築計画特論 /A> 411050 建築設計特論 411060 建築論特論 411070 建築プロジェクトマネジメント 411230 空間設計論 411080 建築基礎構造 ... www.kogaku.kyoto-u.ac.jp/Syllabus/daigakuin/J6.html - 6k - キャッシュ - 関連ページ

Syllabus Index

... 建築設備システム学 421080 環境制御工学特論 421090 地盤環境工学 421100 生活空間地盤工学 421110 高性能構造工学 421120 臨界現象挙動解析学 421130 風環境工学 421140 都市防災工学 421210 建築火災安全工学 411011 建築情報システム ... www.kogaku.kyoto-u.ac.jp/Syllabus/daigakuin/J7.html - 6k - キャッシュ - 関連ページ [他、www.kogaku.kyoto-u.ac.jp 内のページ]

2002 年度 建築情報システム研究会

2002 年度 建築情報システム研究会. . . 2002 年度 建築情報システム研究会「施工現場、作業所の情報化への取り組み事例と技術見学会」. <主催>近畿支部・情報システム部会 日 時:2002 ... news-sv.ajj.or.jp/kinki/activity/research/infosys/meeting2002.htm - 3k - キャッシュ - 以下省略

キーワード「建築情報システム」で検索された情報をそれぞれのホームページから読んでみると、講義の内容は、建築設計におけるコンピュータの利用や、都市、ビルなどにおける情報ネットワーク化のための建築上配慮することなど、情報化時代の建築学の最先端の研究分野のようである。もちろん、この講義担当の谷先生の研究室のホームページもあるので詳しく知りたい人は調べてみてください(インターネットは遊び道具だけではないのですから)。